

14. 父がしたかったこと

私が小さい頃、父はいすを直したり、本棚^{ほんだな}を作ったりしながら私とおしゃべりするのが大好きでした。私は、大学卒業^{だいがくそつぎょうご}後、仕事で忙しくなって、時々私の家に来る父と二人で話すことはほとんどありませんでした。そして、ある日・・・。

私が小さい頃、父はよくいすを直したり、小さな本棚を作ったりしていました。その間、私は父のそばに座って、それをずっと見ていました。父は私に金づち^{かな}を握^{にぎ}らせて、私の手の上に自分の手を重ねて、金づち^{かな}の使い方を教えてくれました。そのおかげで私は道具^{どうぐ}の使い方が分かるようになりました。

私が父のそばに座っている間、私たちはおしゃべりをしました。父は私の趣味^{しゅみ}について尋ね^{たず}たり、父が小さい頃^{こころ}のことを話したりしてくれました。

父はお酒を飲みに行ったり、夜、仲間たちと遊びに行ったりすることはありませんでした。仕事が終わった後で父がしたかったこと、それは家に帰って家族と一緒に過ごすことだけでした。

私は高校卒業^{そつぎょうご}後、家から遠く離れた所にある大学に進学して、大学のそばに引っ越^ひしました。父は毎週日曜日の夜になると、いつも電話をかけてきました。

大学卒業^{だいがくそつぎょうご}後もその土地の会社^{しゅうしょく}に就職^{しゅうしょく}して、その街^{まち}に住み続けました。数年後、結婚して家を買った時、夏に父が訪ねてきました。とても暑い夏でしたが、父は私のために3日もかけて家にペンキ^ぬを塗^ぬってくれました。父は「座って話をしないか」と私に言いました。しかし、私は自分の仕事で手いっぱいだったので、結局、その夏は父と話す時間がありませんでした。

それから数年後、父が私の家を訪れて、私の娘のために何時間もかけてブランコを作^{すうねんご}ってくれました。父は、ブランコを作っている間、話をしないかと誘^{すうねんご}ってくれました。

しかし、私は次の出^{しゅつちよう}張^{じゅんぴ}の準備をしなければならなかったもので、父と話す時間はありませんでした。

父を空^{くうこう}港^{みおく}へ見送りに行き、「またね」と言って別れた時、私は、父がいる間に二人で話す時間を全く持たなかったことに気が付きました。

それから1年ほどたったある日曜日の夜、私は父と電話で話をしていました。父は、私が娘について話したことを忘れてしまっているようでした。しかし、私は気にしないで電話を切り、そのことについて深く考えることはありませんでした。

電話で父と話した2日後、父の家の近くにある病^{びよういん}院から電話がかかってきました。父が脳^{のうそっちゆう}卒中を起こしたのです。私はすぐ飛^{ひこうき}行機^きのチケットを取りました。そして、病^{びよういん}院に着くまでの間、父が新しい家にペンキを塗^ぬりに来てくれた時のことや、娘のブランコを作りに来てくれた時のこと、父と二人で話す時間を全く持たなかったことを思い出しました。

病^{びよういん}院に着いた時、父はすでに息を引き取っていました。看^{かんごし}護師は「お父様は、私のことをあなたのお名前ですと呼んでいました。そして、そばで話をしないかとずっと言い続けていらっしゃいました」と言いました。

父が死んでから、私は毎日父のことを考えるようになって、父の心の底^{そこ}にあった思いや父の夢についていろいろと考え始めました。父はずっと私と話したがっていました。そして、やっと「私との時間」を手に入れましたが、遅^{おそ}すぎました。

最近、私は毎日娘と一緒に過ごす時間を持つようにしています。娘に学校での出来事について尋^{たず}ねたり、ものの作り方や直し方を教えたりしています。私は、ここに父も一緒にいて、喜^{よろこ}んでいると思っています。

単語リスト：

金づち（かなづち） Cái búa

おしゃべり Hay chuyện, nói nhiều

手いっぱい（ていっぱい） Bận rộn

ブランコ Xích đu

土地（とち） Địa phương, đất đai

気が付く（きがつく） Nhận ra

脳卒中（のうそっちゅう） Tai biến mạch máu não

息を引き取る（いきをひきとる） Trút hơi thở cuối cùng

手に入れる（てにいれる） Có được